

【研究課題】

死後髄液の NMR 解析を用いた頭蓋内傷病変の診断

研究期間：2021年3月6日～2024年3月31日

適格基準に該当した事例について、剖検時に採取した死後髄液試料及び、性・年齢等の基本情報、死因、既往歴・現病歴の情報を採取し、死後髄液試料についてNMR計測を進め、死後髄液のNMR信号データと頭蓋内傷病変との関連について解析を進めた。本研究から、死後髄液をNMR分析することで、法医診断への応用可能性を示唆させる識別結果を得ることができた。サンプルサイズを増加させた実証的研究により、死後髄液のNMR法医診断モデルの構築が期待できるものと考察された。ただし、こうした研究とは別に、死因別に死後髄液のNMRデータが変化する生化学的背景について検討・考察するために、病態生化学的視点からの研究を進めることが必要と考えられた。